

宜山小学校公開研究会

2015年（平成27年）、6月4日駅家南中学校区の宜山小学校で公開研究会が行われました。

駅家南中学校区では、「学習習慣の確立」と「集団づくり」を柱としたさまざまな取組を進めてきました。宜山小学校公開研究会ではその研修や取組の成果と現状を確認するため、低・中・高学年が「学習習慣の確立」と「集団づくり」を軸に授業を行いました。また宜山小学校では、「学び方を学ぶ」ために、振り返りに重点を置き、全学級が授業の最後に振り返りを入れました。

授業後は体育館で研究協議を行いました。中学校区の教職員が活発に意見を交換し、これからの方向性を探りました。

今後も、このように小中学校間で連携を図りながら、教職員、学校、家庭、地域が力を合わせ、中学校区の目指す子ども像である、『学びあい 支え合い 主体的に活動できる児童生徒』の育成をめざし、引き続き取組を進めていきます。

低学年 2年生「かんさつ名人になろう」

2年生では、真辺瑛教諭が、教科書と教員の例を比較させながら考えを持たせたり、発表者に体を向けて聞くなどの約束を取り入れたたりしながら、丁寧に楽しく授業しました。



友達の意見に体を向けてしっかりと聞くことができました。

中学年 3年生「こまを楽しむ」

3年生では、山西美紗都教諭が、友達と自分の書いたこまについて比較させ、友達の良さを班学習で見つけることを軸に授業をしました。



自分の考えを自信を持って伝え、班交流も積極的にできました。

高学年 6年生「時計の時間と心の時間」

6年生では、徳永恭典教諭が、児童が書いた考えをグループ学習、話し合い活動で交流することを軸に授業をしました。



班長を中心とした活発な班交流が行われ、自分たちで考えをまとめました。

研究協議

研究協議では、宜山小学校教職員及び、参観した教職員が低・中・高学年グループに分かれ分科会を行いました。分科会では、授業における反省から評価点、改善点を明らかにしていきました。これからの小中一貫教育の方向性に活かしていきます。



どのグループの協議も、子どもたちに負けないような、活発な意見の交流会になりました。